

議 事 録

1	会議名	第10回富士見市基本構想審議会
2	開催日時	平成22年 6 月28日（月）13時30分から15時30分
3	出席者名	委員：市川浩委員、伊藤悦子委員、上田威委員、小山健次郎委員、渋谷義衛委員、清水實委員、田中洋子委員、根岸由紀子委員、柳田政男委員 市側：奥村副市長、斉藤総合政策部長、斉藤政策財務課長、政策財務課（事務局）
4	傍聴者	なし
5	次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 協議事項：富士見市第5次基本構想（土地利用構想）素案について 4. 今後のスケジュールについて 5. 閉会
6	決定事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地利用構想及び土地利用にかかる基本計画について協議し、基本的な合意を得た。 ・ 次回以降は、前期基本計画について協議することとする。
7 議事内容		
	渋谷会長	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皆様のご協力につき、前回、基本構想の理念、将来都市像及び基本目標、施策の大綱については概ね合意した。 ・ 今後は、行政の方でパブリックコメント等を実施し、状況を踏まえた上で本会にて適宜協議することとする。 ・ 本日は、土地利用計画の考え方等について協議する。
	事務局	<p>3. 協議事項</p> <p>事務局説明</p> <p>（基本方針及び広域・地域の空間ネットワークについて事務局から説明）</p> <p>（基本計画及び土地利用構想図について事務局から説明）</p>
	委員	<p>質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市の図面を見ると、鶴瀬やふじみ野、みずほ台いずれにしても東口の規模が小さいのはなぜか。東側の交通の便が良くない。道路行政も大事だが、交通面はどうなっているのか。東側の方が遅れているのはなぜか。
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ この地域の2大交通軸は東武東上線と川越街道であり、この周辺に事業所

委員	<p>が立地してきた。よって、自然と各駅から西側に流れができる。東側はまちの奥行きが浅い。奥行きのあるまちづくりが望まれる。</p>
委員 渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの駅を中心に、交通機関を発達させるべきである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指摘事項は都市計画道路の話だと思う。富士見の都市計画は、三芳町や旧大井町の一部、旧上福岡と協議をして、この道路網になった。南畑は市街化調整区域になったため、今から都市計画道路を作ることになれば県との調整が必要である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふじみ野にしても鶴瀬にしても、西側の方が区画整理され、面整備、インフラ整備が進んでいる。それに加え、東武鉄道が西側に多くの用地を持っていて、大きな企業も集積している。このような背景のうえにまち並み整備が行われてきた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口密度など、実際に人が住んでいるのは東側が圧倒的に多い。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士見市だけで見るとそうである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西側の街並み整備の背景を踏まえると、西側は自然と人の流れ、まちづくりができるので、道路ではなく、公共交通をもっと機能的にすべきである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉県はバス交通が発達しておらず、鉄道中心のまちになっている。駅周辺は人口が多いが奥行きがないため、バス交通が発達しない。どう補うかが課題である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼間人口を見ると、富士見市に住んでいてよそに勤める人が多い。そうすると、企業の誘致というより、いかに本市に住んでもらう人を増やすかが重要である。自然や特産品を活かして、この地域にどれくらいの世帯に住んでもらうかなど、具体的に想定していかないと机上の計画で終わってしまう。市として、いかにして経済効果を生むかをこころがけ、10年、20年という長期スパンで計画を活用していくべきである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の利便性や安全性とあるが、これから高齢化が進むにつれ、自家用車利用が減り、バスなどの市内交通の便をよくしていかないといけない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、キラリが市の象徴といわれても、そこにたどり着かなければ意味がない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ その通りである。高齢化社会を考えると移動手段も変わってくる。身近な所で買い物ができるなど、生活が完結できるような地域空間を作るべきである。シティゾーンのように、人が集まる環境をつくることによって、新たな流れができ、交通も発達すると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同様な意見だが、ふじみ野駅西側に住んでいるので、休みの日くらいにしかこちらへこない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市は転入者が多いと思うが、なぜかと考えると、まずは健康づくりなどの趣味、次に病院といった環境が必要である。そうすると安心して老後を迎えることができる。老後ここに来たいという人をマンションで誘致するのもよい。人がいたら交通の便がよくなることに期待したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ そういう意味では柳瀬川の水辺など、従前の構想から大きな計画があるが、実現性はあるか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 法律の改正や人口が増えないこともあり、埼玉県としても市街化を増やさない方向である。様々な切り口から魅力ある土地利用を考えていく必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> まちなか居住地域について、勝瀬側の区画整理の東側は調整区域だと思うが、黄色く塗っていくということは「市街化区域に入れる」という意思表示なのか。 道路について、柳瀬川から上に行っている都市計画道路ともう一つ、富士見・川越道路につながる道は、昔から構想に出ているが、実現されていない。この10年で着手するのか。 時を伝えるネットワークについて、第4次では緑と水のネットワークなど、駅につながっていたと思う。今回の図を見ると、後退した印象を受ける。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 市街化調整区域は、砂川堀上のブルーの線から新河岸寄りの部分で、将来的には市街化にもっていければと思っているが、当面は県自身が人口減を見込んでいない状況である。しかし市街化区域に隣接している現状なども踏まえ、まちなか居住地域と同じ色を塗っている。 道路について、ふじみ野駅の上あたりから南畑までつなげようとしている。特に東側は、駅と各地域を結ぶ道路整備を重視している。 ネットワークについて、今回、歴史的な部分も広げていこうとした。基本的には水と緑を継承して、現実的な線で結んでいる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 南畑地区でまちづくり協議会を立ち上げ話し合いをしているようだが、どのような結論を出そうとしているのか報告してほしい。 新しい活力創出ゾーンで「都市的土地利用への転換を誘導」とあるが、具体的にどのようなイメージを持っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 南畑地域まちづくり協議会については、提言を出したところである。南畑だけが全て市街化調整区域になっていて、様々な制約が多く、明治からほぼ人口が増えていない。 人口が増えない中、少子高齢化が進んでおり、農業の後継者不足、祭りなどの担い手不足等々、伝統文化の継承、コミュニティの持続が困難になってきているという危機感が地域を動かしたものである。 そのような中、最近都市計画法の改正があり、集落部分では一定条件を満たせば新しい人が住めるようになった。そこで、新しい人が住める環境をつくりたいという強い要望があり、提言となった。 本構想の3ページ「田園・居住地域」3～6行目において、新しい人が住める可能性を示している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 南畑地区から市の中心に来るとき、周辺に大きな駐車場が必要である。図を見ると、東側に延びる大きな道路は3本しかない。 みずほ台から工業団地まで、鶴瀬もそうだが、民間バスが走っていない。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少局面にあり、事務局の指摘の通り、市街化調整区域を市街化区域とするのは難しい状況である。そのため、シティゾーンなど、住宅ではなく他の利用が必要である。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 凡例の中で、半円で示した「活動拠点」があるが、誤解を生む可能性があるので「駅周辺地域」という文言に修正する予定である。
事務局	<p>事務局説明 (第5次基本構想策定に向けた提言について事務局から説明)</p> <p>質疑応答</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 以前、農地の耕作放棄地が4%という話が出たが、どうなったか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 調べた結果、減反調整分も含んでいた。放棄地の活用は課題のひとつと認識している。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 図については、基本構想に載せるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 議決事項としては考えてないが、冊子には掲載する。前段の基本構想は議決事項とし、基本計画は定期的に見直しを行う。
事務局	<p>4. 今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 次回以降は、基本計画について協議していただく。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 第11回は7月23日13時半、第12回は7月29日13時半、第13回は8月4日13時半、予備は8月10日13時半の開始とする。
	<p>5. 事務連絡・閉会</p>
<p>8 会議資料</p>	
<p>資料：土地利用構想</p> <p>資料：土地利用構想図</p> <p>資料：第9回審議会会議録</p> <p>参考資料：南畑地域まちづくり協議会「第5次基本構想策定に向けた提言」</p>	